

2019年度 第2回市民公開講座

7月13日開催 前立腺がん検診について



泌尿器科部長

医師 菅谷 真吾

前立腺がんは、高齢男性に多く、比較的ゆっくり進行するがんですが、進行すると骨転移を起こしやすく、それによる痛みや運動機能障害などにより、生活の質を著しく低下させてしまう疾患です。近年、前立腺がんは増加傾向にあり、この先、男性のがん罹患率では第一位になることが予測されています。

前立腺がんはPSAという前立腺から分泌されるタンパクを測定（血液検査）することで簡単に早期発見が可能です。町田市では、2008年からPSA測定による前立腺がん検診を行っています。以来、治療が必要ながんを早期の段

階で多く発見できています。

前立腺がんの治療は手術、放射線治療、男性ホルモンを抑える内分泌療法、進行が遅いと予測されるがんに対する待機療法などがあります。早期がんは根治が可能ですが、昨今、内分泌療法が効かなくなるがん(去勢抵抗性前立腺がん)や初期段階で転移を有するがんの治療がトピックとなっています。このようながんは、これまで確立された治療に乏しかったのですが、ここ数年で新しい治療薬（新規抗アンドロゲン薬や化学療法）や、薬物と放射線治療などを組み合わせる集学的治療により、生存率の改善を得ることが出来るようになりました。人生100年時代、よりよいセカンドライフを送るために、皆で前立腺がんに取り組んでゆくことが大切です。

